

2020年5月12日 Q&A

アミール・ツアルファティ & バリー・スタグナー牧師
- ライブ配信中のコメント欄に寄せられた質問に答える -
<https://youtu.be/9jhXR5J2Cq0>

マイク: さて、バリー牧師、

Q: キリストにあって死んだ、私たちの愛する人たちは、天から見下ろして何が起きているのかを見る事は出来るのでしょうか？

バリー牧師: そうですね、聖書には決定的な証拠はありません。しかし、私たちが知るべき事があります。ヘブル人への手紙9章27節にあるように、「そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、…」しかし、過去には死なずに天に帰された人たちがいるので、このようなものには例外がある事を、私たちは知っています。そして生きたまま天に上げられ、死なない世代が出てくる事が分かっています。私たちは、モーセとエリヤが現れて、イエスと会った事を知っているので、彼らが、再びこの世の領域に入る事を許されたことが分かります。彼らはここを去って、主の元に行きましたが、再び戻って来ました。しかし、天から見下ろして私たちを見ているという意味では、確たる証拠があるとは思えません。御使いが、地上の領域に侵入する事が出来ることは知っています。しかし、実際のところ、私たちはあちらに着いたら、他のことに集中する事になると思いますし、私たちは、明らかに主と天の不思議に集中するでしょう。黙示録が私たちに語っている日が来ます。…目から涙を拭い取ってくださる(黙21: 4) 過去を忘れ、私たちが天国を満喫出来るよう、基本的に、「記憶の消しゴム」のようなものがあると信じている人たちもいます。主の御前と、その性質のものに入らなかった愛する人の事で言えば、それに対する決定的な答えがあるとは、私は言いません。前回お話したように、聖書が沈黙しているところには常に気をつけて、沈黙して、聖書が明らかにしていない答えを出さないようにしなければならないと思います。

マイク牧師: ええ、感謝します。同感です。おかえりなさい、アミール。

アミール: ええ、聞こえているとよいのですが。

マイク牧師、バリー牧師: もちろん、聞こえますよ。介入を祈りましたから。

アミール: ありがとうございます。私の方からも皆さんの方からも聞こえて、素晴らしいですね。

マイク牧師: 良いですね。フォーラムの誰もが今、私たちの声を聞く事が出来るようです。では、続けさせてください。バリー牧師が質問に答えてくれました。私たちの愛するキリストにあって死んだ人たちは、天国にいて、天国から見下ろす事が出来るのでしょうか？ 彼らは私たちを見る事が出来ますか？ 彼らは何が起きているか、分かっていますか？ ...カレン・アーノルドは、ランディ・アルコーンの本を参考にしています。アミールはどう思いますか？

アミール: いや、バリーの答えを聞きましたが、完璧でした。素晴らしかったです。

マイク牧師: 良いでしょう。さて、ボビーの質問に移りましょう。これは面白いですよ、アミール。読んだ後にニヤリとしてしまいます。ボビーが聞いています。

Q: "fallingaway/離脱"(2テサロニケ2: 3)とは、背教ですか、携挙ですか？

だれにも、どのようにも、だまされないようにしないさい。なぜなら、まず背教が起こり、不法の人、すなわち滅びの子が現れなければ、主の日は来ないからです。(第2テサロニケ2章3節)

はい…これについては色々議論されていますが...

アミール: …良いですよ、聞いてください、大丈夫です。私は、これは分裂するほどの大問題ではないと思っています。これは救いの問題でもありませんし、この為に、バッシングし合うような問題ではありません。私は、確信していますが、パウロがギリシャ語で、“アポスタシア”という言葉を使ったのは、その言葉が必要だったからです。もし彼が何か他の事を言いたければ、他の言葉を使う事も出来たはずですが、しかし、彼が“アポスタシア”を使ったのは、その特定の用語を使う必要があったからです。“アポスタシア”が何なのかよく分からないなら、それを解釈するためには、同じ言葉が出てくる新約聖書の別の場所を見るのです。それは使徒の働き21章です。それが、唯一、新約聖書の中にある“アポスタシア”という言葉です。他の人たちは他の形や、“アポスタシア”から派生した動詞を使いますが、特定の言葉を解釈するために、他の言葉を探してはいけません。その言葉を探さなければなりません。そして、その言葉の意味は「真理から立ち去る」「御言葉から離れる」であって、「世から立ち去る」ではありません。個人的に私は、神の御言葉の中に、患難前携拳について語られている証拠が、十分にあると思っています。実際、その同じ章、4節後に、引き止める者が“その前に”取り除かれなければならない、とあります。

不法の秘密はすでに働いています。しかしいま引き止める者があって、自分が取り除かれる時まで引き止めているのです。(第2テサロニケ2章7節)

さて、ジュネーブ聖書(16世紀の英訳聖書、欽定訳より50年早い)に私を送って、そこに「立ち去る」という言葉があるのを見せても、私は、何も動じません。なぜなら、「立ち去る」という言葉は能動的な言葉です。あなたが、立ち去る。それに対して「掴み取られる」「取り去られる」というのは、あなたの側からは、受動的なものです。神が、あなたをここから連れ出される。あなたが、自分で上がるのではありません。あなたが飛行機に乗る時、あなたが立ち去ります。あなたは、その日、その時が来る事を知っていて、チケットを持っています。搭乗券を持って、立ち去ります。それに対して、「奪われる」「ひたたくられる」というのは、あなたは、その日、その時を知らず、あなたは何もしていません。あなたに出来る事は、何も無いのです。あなたにとっては受け身です。だから、私は、他の場所は見ません。ところで、ビックリするのが、その言葉が出てくると、突然、ずっと使っていた新キング・ジェームズ訳聖書や、欽定訳聖書を信じなくなる。いつもその聖書で教えていながら、特定のこの言葉が出て来ると、こう言うのは何故ですか? 「ああ、それなら、この聖書は使わないで別の聖書を読まない。500年前に翻訳されたこれを」私が言いたいのは、ある言葉を解釈するためには、他の言葉ではなく、その言葉を探さなければなりません。繰り返しますが、その事によって、私の持っている、患難前携拳の見解が揺らぐ事は一切ありません。ただ私は、その言葉に無理矢理押し付ける必要はないと思っています。ここに当てはまるように、ここでギリシャ語を曲げる必要はありません。誰かや、自分自身を喜ばせる為に。ほら、私がキリストを信じるようになった時、ヘブル語で、私は実際に、いくつかの異なる節や訳を読んで、これは携拳だと思い、期待していました。私は期待していました。しかし、それから私はそれを勉強しました。私はギリシャ語を勉強し、翻訳を勉強し、私はこの言葉が現れる他の箇所を学びました。そして私は、これは携拳ではない、という結論に達しました。多くの人が自問自答している事を知っています。「ちょっと待って? パウロは、テサロニケの人々に、何を伝えようとしたのか?」

彼が伝えようとしたのは、基本的に「聞きなさい。イエスは戻って来ていない。大患難は終わり得ない。この7年間は、起こっていない。なぜなら、一つに、教会の背教と、それから7年間そこにいるはずの反キリストの台頭に一致しない。だから、主の日はまだ、起きていない」

一つ言っておきますが、「反キリストは、引き止める者が取り除かれるまで台頭しない」それが、携拳の言及です。だから私は、“アポスタシア”が、携拳ではないという事には驚きません。なぜなら、3節だけでその章を読むのを止めたりせずに、章全体を読まなくてははいけません。それが書かれた文脈を理解しなければなりません。そして、ほら、私は患難前携拳説を信じます。しかし自分の理論に合わせるために、私はここでギリシャ語を曲げたりしません。繰り返しますが、私はそれが携拳だと信じている人たちを尊重します。なぜなら、患難前携拳や、反キリストの台頭の前に携拳が起こるといふのは、聖書的な見解ですから。ただ、その特定の言葉について、彼らと意見が異なるだけで、それで敵対する事はありません。それで私たちが…お互いをバッシングしたり憎んだりする事はありません。違います! 尊敬の念を持って、その特定の事で意見が合わないことに同意して、それだけです。ありがたいことに、私たちは皆、反キリストの台頭の前に主に会えるのです。それは、新約聖書のいたる所に見られる事実です。だから、私はそれで大丈夫です。しかし、繰り返しますが、私は明確な良心、清い良心を持って、ギリシャ語の…良いですか? 英語の単語でさえ、背教、英語の「背教」は、あなたに起こる、何か素晴らしい事を告げているか? それとも霊的な状態に関する、非常に悪い意味合いを持った何かなのでしょうか?

ともかく私が言いたいのは、多くの翻訳がある事を忘れてはなりません。そして、その言葉に限っては、ただ一つの翻訳に走って、それだ！と言うことは出来ません。全体像を見ないとはいけません。これは私の意見であり、私はこの意見を持つ事を許されています。バリー牧師にはバリー牧師の意見がありますし、他の牧師にも、彼らの意見があります。だからと言って敵ではありませんし、私たちは良き友人同士です。私たちは永遠に一緒です。

マイク牧師: はい、ありがとう。もちろん、具体的にそれに関する教えを公開する予定です。私はそれを「大いなる背教」と呼んでいます。テサロニケ人への手紙は、他のものより早くに書かれた書簡で、その後、大いなる背教の概念が展開されていくのが見られます。もちろん多くの背教、教義、健全な信仰からの離脱も多くあります。しかしそれは、後の時代に増大します。その点について、バリー、どう思いますか？バリー牧師、テサロニケ人への手紙第二の、これが出て来る箇所、教会が連れ出される事に関して質問です。

Q: まず第一に、アミールが言った事に付け加えることはありますか？次に、大患難の間、人々がイエスを受け入れるチャンスがあるのでしょうか？それとも手遅れですか？一旦、^{いったん}真実が明らかになれば、「残念でした！」となるのか？

バリー牧師: ええ、まずアミールが言っていた事に同意します。物事の見方が違う兄弟たちがいますが、これは、悲しいことに、ここ数日で失われてしまったものだと思います。つまり、私たちはお互いを愛し合い、議論の場であっても愛を示すことで、私たちの中にキリストの愛があることを世界に示さなければなりません。素晴らしい神の人たちが、これを違ったように見えています。私にとっては、その言葉を見ていると、2章の冒頭でパウロは、キリストの再臨である「パルシア」を述べています。パウロは彼らに言っています。「聞いてください、これはまだ起こっていない。なぜなら、先に主の御元に集められる“エピスナゴゲー”があるのだ」と。それはヘブル10章25節で、教会の集会に使われている言葉と同じです。それは、一つの場所に完全に集めるという意味で、これは、教会の携挙のことを言っているのです。私は、聖書は、かなりはっきりと伝えていて信じています。私たちが主の御元に集まる日が来ること、私からすれば、それは携挙です。ですから、“アポスタシア”を取って、アミールが言っていたように、他の場所で使われている動詞の形で訳し、文字通り、地球の表面からの物理的な出発の意味に取れば、テサロニケ人への手紙第二2章は、要するに、携挙が先に起こらなければ、携挙は起こらない、と言っている事になります。それは、私の書では意味が通じません。しかし繰り返しますが、そう解釈しているからと言って、私の知っている兄弟たちや、心から親愛なる友人と決別するつもりはありません。繰り返しますが、私は言語的にはアミールの言っている事に賛成です。文脈があるときは、読んでいるものの枠組みの中に留まるべきで、「別の聖典の別の箇所では、物理的な立ち去りを意味する」と言う事は出来ません。私も彼の言った事に同意します。聖霊が、ギリシャ語の動詞の形をそこで使う事を望んだのであれば、それを使ったでしょう。彼は議論や混乱を招くようなものは使わなかったでしょう。ですから、私にとっては、パウロが書いたものと一致していると思います。テモテ第二2章4節には、健全な教義からの逸脱について書かれています。健全な教義に留まらない人たち。

さて、バランスは問題ですが、私は大患難の期間中に大勢が救われると信じています。真実の愛を受け取らなかった人々に関してはいくつかの議論が起きています。その時点で受け入れなかった場合、携挙が起こった後では救われない、と。私にとっては、私たちは理解しなければならないと思います。それは、携挙の前に最終的な決断を下す人たちがいる事を示しています。その人たちは、子羊の怒りから隠してくれと岩や山に向かって叫ぶ事になります。(黙示録6: 15~17参照)。

地上の王、高官、千人隊長、金持ち、勇者、あらゆる奴隷と自由人が、ほら穴と山の岩間に隠れ、山や岩に向かってこう言った。「私たちの上に倒れかかって、御座にある方の御顔と小羊の怒りとから、私たちをかくまってくれ。御怒りの大いなる日が来たのだ。だれがそれに耐えられよう。」(黙示録6: 15~17)

なぜなら、彼らはパウロのように心を頑^{かたく}くにして、神の愛のメッセージを受け取る事に全く興味がありません。また、他の人たちは、私たち全員がそうであったように、初めて福音を聞いた時に救われる人は、非常に少ないと思います。だから、一度聞いて、主を受け入れなかったらそれでアウトだ、と暗示しているとは思えません。なぜなら、何層にも、何層にも、何層にも真実を聞いて、ようやく受け入れる人が多いですから。ある人は、教会に行き福音のメッセージを聞いて、その時に、キリストを受け入れなくとも、そこで聞いた情報が、今までとは違った形で心に響

く時があると思います。彼らは必ずしも、真理の愛を受けなかったグループには入りません。彼らは救われます。あらゆる部族、舌、民族から、数えきれない程の人が、大患難の時に救われます。という事で、私たちは今、その時代に生きているからこそ、現在、私たちは、大患難に突入する人たちに取り囲まれていると思います。だから私たちは、今の世界で何が起きているかを伝える必要があります。そうすれば、私たちがいなくなった後、彼らに共有した事が、彼らの心によみがえってきます。ですから、教会の携挙の後や、大患難の間に救われる人がいて、世界中で人が救われるでしょう。それから、大患難の終わりに、すべてのイスラエルが救われることを知っています。だから、絶対に...最後までずっと救済の御業は続きます。

マイク牧師: 非常に良い指摘です。アミール、バリー牧師が話していた時は、何度もうなずいていましたね...

アミール: ええ、バリー牧師が言った事に共感します。最初の3年半の間に2人の証人がいて、神が2人を連れて行かれる時には、少なくともエルサレムでは、その為に御霊の大きな動きがある事を知っています。...そしてもちろん大患難の後半は、14万4千人で、神がまた大きく動かれる事を知っています。こういった14万4千人の小さなビリー・グラハムが人々に福音を宣教します。だから、大患難を通して、大患難の聖徒がいる事は間違いありません。唯一、私に言えるのは、彼らの最期がそれほどきれいではないということ...。もしあなたが、今、信じるか、大患難を待つかを選ばなければならないなら? 私は言います。「鏡をよく見て、頭を見てから教えてください。頭が体にくっついていて欲しくないか?」なぜなら、大抵の場合、大患難の信者は斬首ざんしゅされますから。私たちは知っています...獣が恐ろしい事を行います。ほら、彼が二人の証人にするのと同じです。ありがたいことに、神は二人を復活させますが、彼は信者に対しても行います。そして、神は最終的に、最後に彼らを天に上げます。...良いですか、私は大患難を待つ決心するつもりはありません。だから、聖書は私に言っているのです。「今は恵みの時、今は救いの日です。」(コリント第二6: 2参照)これから起こる事に比べれば、今はとても良いですから。見てください。小さなウイルスが、世界中をパニックに陥おとしれています。今の私たちには、大患難の最中にどれだけ恐ろしい事が起こるか、全く想像がつかえません。黙示録を読むたびに、最初の3年半の間でさえ、二人の証人が実際に力を与えられ物事を行う時、これらは綺麗ごとでは済まされません。世界の生態系は、すでにそれに反応していて、最初の3年半の間に、他の事も起こるのです。それはもう、すでに神の裁きです。もちろん証人がいますし、裁判では...。私が言いたいのは、待つてはいけません。待つてはいけません。今がその時です。マイク、以上です。

マイク牧師: ええ。...アンジェラからの質問です。

Q: ハルマゲドンは大患難の前に起こりますか?

バリー牧師。

バリー牧師: ハルマゲドンは大患難の前に起こるか?

マイク牧師: それが質問です。

バリー牧師: いいえ。それは大患難の終わりに起こります。その戦いは、ヨハネの黙示録19章で、イエスが戻って来て終止符を打たれます。そこで、主が真実で正しい裁きをして戦われ、主は血に染まった衣をまとい、胸と太もみに新しい名前が書かれています。これは基本的に、昔は王の紋章を、馬に乗って戦う人は胸に、近接戦では、太ももにつけて、誰のために戦っていたのかが分かるようにしていたのです。そして彼は、主の偉大な御名のために戦いますから、間違いなく大患難の終わりに起こります。また、エゼキエル書38、39章の戦いとも違う事を付け加えておきます。戦闘員が違いますし、場所が違いますし、結果が違います。ですから聖書的に、明らかにそれは大患難前の出来事ではありません。

マイク牧師: はいそうです。そうです。この素晴らしい答えに、アミール、何か付け加える事はありますか?

アミール: 素晴らしい答えです。聖書には「ハルマゲドンの戦い」と書かれている場所がない事を、伝えておきます。つまり、もしそれを見つけたら? 無料でイスラエル旅行にご招待しますよ。...黙示録16章16節ではこう言っています。

こうして汚れた霊どもは、ヘブル語でハルメギドと呼ばれる場所に王たちを集めた。(黙示録16: 16)

つまり、ハルマゲドンが集合場所になるという意味であって、ハルマゲドンに集合してから、究極の戦争はエルサレムが全てです。だから、ゼカリヤ書12、13、14章がまさに、その事について語っているのです。これは最終的にイエスが戻って来られて、彼の足がオリーブ山の上に立つ戦争です。そして、聖徒たち、つまり私たちは主イエスと一緒に来ます。そして私たちはヨエル書3章が言うように、まず初めに諸国を裁き、そしてもちろん、千年王国を確立します。バリーが今言ったように、ゼカリヤ12、13、14章は間違いなく大患難の終わりです。それに対して、エゼキエル書38と39章は同じ戦争で、別のものではありません。それは、それで大患難が開始となるか、もしくは最初の段階に起こる戦争です。なぜなら、7年の平和条約を結んだ後に、大患難が始まります。私の知る限りでは、平和は唯一…特に効果的なものを望むなら、恐ろしい流血の戦いの後、両者が超疲弊してからでなければ訪れません。だから、エゼキエル戦争で過激イスラム教が崩壊し、そして、それによって、反キリストが、ユダヤ人が神殿の丘の上に神殿を建てる事を許可することになります。今は、イスラム教が強くて、とても活発ですから、ユダヤ人がそこに何かを建てる事を、決して許しません。ともかく要は、私は、反キリストはイスラム教の指導者では無いと信じているのです。なぜなら、反キリストは、ユダヤ人を受け入れ、イスラム教第三の聖地に神殿を建てる事を許し、そこに神殿を建て、礼拝する事を許さなければなりませんから。多くの人が理解していないのは、ヨハネが黙示録11章で物を測っていたとき、最初の1260日は二人の証人、これは大患難前半の3年半で、後半の42ヶ月、後半の3年半は、諸国が都を踏みにじります。なぜなら、ユダヤ人がいなくなりますから。12章にあるように、彼らは皆、荒野に逃げます。だから、私が言いたいのは、はい、ハルマゲドンは集合場所です。それは大患難の終わりです。そして、それによって、エルサレムでの戦争が始まります。ユダヤ人は戻ってきます。そして、もちろん、イエスの足がオリーブ山の上に立ち、私たちは、主とともに戻ってきます。

マイク牧師: ...はい、その時系列を見て、とても励みになりました。アミール。ここで、よく聞かれる質問をご紹介します。デビーからの質問です。

Q: 聖書の歴史の中で、なぜ祭壇は礼拝のために、それほど重要なのでしょうか? ...なぜ祭壇を建てるのですか? 聖書の中で、毎回、祭壇を建てているように思えます。

アミール、それからバリー牧師、それについてのご意見を聞かせてください。

アミール: さて、祭壇を建てる事は...、積極的な信仰の究極の証です。誰を礼拝しているのかを、行って、示さなければなりません。ちなみに、祭壇は世の初日から存在していました。これはある意味、内なる礼拝の外側の表現のようなものです。さて...祭壇は時代を追うごとに違って見えるかも知れません。しかし、こんにちの教会でも「アルター(神殿)・コール」といって、招きをします。だからつまり、祭壇という言葉はずっと長い間、物理的でしたが、今、それはまた、ある意味で霊的です。それは、私たちのやり方ではなく、主が望まれる形で、私たちが主を礼拝する方法です。そして、倒錯的(どうさく)なやり方を発明して、神の道では無い方法で、神を愛している事を示す事が出来ました。神には基準があり、神には要件があります。少なくとも一番初めの頃、神が、このタイプの礼拝の仕方を導入された時は、物事が物理的に目に見え、感じる事が出来なければなりませんでした。私たちは理解しなければなりません。養育係である律法があり、それは全て物理的なものでした。しかし、神がモーセに示されたのは、すでに天にあるものの型で、それを地上に建て、地上に与えたのです。契約の箱があり、そして天国には神殿がある事を、私たちは知っています。ですから、神様が望まれていること、求められていることを地上ですということ、天国でも、神が受ける礼拝の反映なのです。...また、これは従順の形でもあります。従順は犠牲よりもまさり、従順とは、主が望まれている事を行う事です。私たちはまず服従し、次にその理由を理解します。あなたが、いつも理由を理解しようとして従わないなら、あなたは、決して従う事が無いでしょう。しかし、あなたが従うとき、あなたは理解します。繰り返しますが、祭壇はその中の一つです。最初から聖書全体に祭壇が見られます。創世記から...

マイク牧師: バリー、アミール。

アミール: 私たちは、列王記の時代、預言者の時代、最後の最後までそれを見ています。さあ、どうぞ。

バリー牧師: はい、黙示録の8章3-5節には、素晴らしい天国の場面があります。

御使いが来て、金の香炉を持って祭壇のそばに立った。すると、たくさんの香が彼に与えられた。すべての聖徒たちの祈りに添えて、御座の前にある金の祭壇の上で献げるためであった。香の煙は、聖徒たちの祈りとともに、御使いの手から神の御前に立ち上った。それから御使いは、その香炉を取り、それを祭壇の火で満たしてから地に投げつけた。すると、雷鳴と声かとどろき、稲妻がひらめき、地震が起こった。

つまり、祭壇は礼拝の場を代表するものであり、裁きの場を代表するものであることを物語っています。なぜなら、動物は歴史の中で神の司法の性質を満たすために、祭壇の上で屠られて来ましたから。それは、天の場面で起こっている事を思い出させてくれる、素晴らしいものです。アミールが言ったように、礼拝の対象であり、聖徒の祈りが、主の前に捧げられます。また金の香炉を見ましたが、地上では、長い間、主に動物の犠牲が捧げられるのを見ていて、それは神の裁きの象徴です。だからこそ、これらの事を認識する必要があるのだと思います。これら、天にあるものの写しが、地球上にも存在しているのです。

マイク牧師: はい。ありがとうございます。皆さん、また、思い出してください。祭壇を作り、神を崇拝する行程でさえ、聖書には、神は、心の伴わない空しい生け贄を喜ばれない、と書いてあります。それは礼拝の精神で、私たちは御言葉を聞き、全身全霊でそれを行わなければなりません。そこにはもちろん祭壇での礼拝も含まれ、今日では、私たちのライフスタイルに現れます。次の質問に移りましょう。これはヘザーからの質問です。ヘザーはこう尋ねています。

Q: ペンテコステが、携挙の『期待が高まる日』である事をどう感じますか？

彼女が何を言っているのか、よく分からないのですが。

アミール: あの、彼女は、ラッパと混乱していると思います。つまり、信者の大半がそうですから。「最後のラッパで、私たちはここから出て行く」という事から、人々は、ラッパの祭りに携挙が起こると考えがちです。しかし問題は…繰り返しますが、これが問題なのは、私たちには、その日その時が分かりません。ここで言われている事は、毎年、携挙が起こると予想される日が2日あって、そうになると、私たちは、その日が分かってしまうのです。それは、私たちが携挙について知っている事とは一致しません。

さて、マイク。例祭、ユダヤ人の祭りを思い出してください。これらは常に、救いの計画が全てでした。救いの計画です。したがって、携挙は違います。私たちは救われるのではなく、この世界から連れ出されます。ええ、私たちの体は救われ、この世から贖われます。しかし私の中では、すべての例祭は、常にユダヤ人が大きく関わって、イスラエルで成就しています。私の結論は、その日に何が起こるかが分かっている日があるとすれば、それは、イエスの地上再臨です。私は、主イエスの地上再臨のとき、私たちも主とともに戻って来ると信じていますが、それはラッパの祭りであり、それはイスラエルの救いです。そして、ローマ11章、ゼカリヤ書14章と12章にあるように、全イスラエルが救われます。しかし、さらにお伝えしたいのは、ラッパの祭りに続いて、贖罪の日が来て、ユダヤ人は悔い改め、嘆き、泣き声を上げます。彼らは理解するのです。彼らは自分たちが突き刺した方を見て、悔い改めます。そしてもちろん、主が私たちと千年間“仮庵”される、千年王国です。マイク、私たちが覚えておかなければならないのは、最初の4つの祭りは、適切なタイミングで起こり、成就されました。つまり、地上の祭りの時です。イエスは私たちの過越の祭りでした。主は、種なしパンで、主は、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられ、そして、聖霊が来しました。すべて同じ年に、そして同じ長さ、50日間です。…それからもちろん、69週目と70週目の間に、教会時代のこの谷間があります。そして、次の祭りが成就する時、また同じように成就していくのです。ボン！ボン！ボン！と、次々と。だからこそ、イエスが再臨され、ユダヤ人を救い、彼らが悔い改め、エルサレムから支配するのは、「ラッパの祭り」で成就する可能性が高いと思います。私たちにとって良いことは、誰も、何時何分かかわからない。だから文字通り、信者である私たちは、「今すぐにも」と言えるのです。もしかすると、今日かも知れない。私たちは、本気でそう言えます。信者は、こんな風には言いません。「今年のラッパの祭りに携挙が起こらなくて、本当にガッカリだ。来年まで携挙を待ってしよう。」いいえ！5分後に起こるかも知れません。2日後に起こるかも知れません。1週間後に起こるかも知れません。携挙は指定された時間や、瞬間ではありません。だから、私たちは理解しなければなりません。そのような出来事は、特定の日と結びつけられません。他の壮大な出来事は結びつける事ができ、そうするべきですが、これは違います。

マイク牧師: ええ、非常によくわかりました。非常に明確です。バリー牧師、何か付け加える事はありますか？

バリー牧師: いいえ。ただ、質問は、ペンテコステについてでしたが、ペンテコステは成就しています。アミールが言っていたように、春の祭りの4つはすべて成就しています。イエスの死に関しては、過越しの日、種なしパンは、彼の罪のない生涯。主は多くの同胞の中で最初に死者の中からよみがえられ、永遠に生きておられます。そして、その過越しの50日後に教会が誕生しました。聖霊が注がれて、第4の春の祭り、すなわちペンテコステが実現しました。ですから、それらはすべて成就しています。アミールが言ったように、私たちは時計やカレンダーを見るのではなく、常に準備が出来ていなければなりません。なぜなら、基本的に携挙は切迫していますから。常に差し迫っています。いつでも起こり得ます。その前に起こるべき兆候は、一切ありません。ですから、私たちは常に教会の携挙の準備をし、期待して生活しなければなりません。

マイク牧師: さて、これはアミールへの質問です。あなたはヘブライ語をよく知っています。あなたの第一言語ですね。「ネフィリム…」ネフィリム、何という事でしょう！

Q: ネフィリムって誰ですか？そして、彼らが人間と関係を持っていた当時、どうなっていたのでしょうか？

はい、それは非常に複雑な質問で、答えるのに2時間かかります。私個人的には、これらは墮天使であると信じています。脱落した天使たちがいたのは分かっています。つまり、彼らはサタンと協力しました。彼らは神の御業を妨害して、新種を作ろうとしました。明らかに、あまり上手く行きませんでした。ヘブライ語で「ナファル」は、「落ちた」という意味です。ネフィリム、落ちた者たち。彼らの名前は、2人の人間の普通の性交から生まれたものではないことを物語っています。彼らは、実際に墮落した生き物です。彼らは、墮落した生き物から来ています。という事で、これは私の個人的な意見です。これが、洪水が必要だった理由の一つだと思います。...私が言えるのは...その...聞こえますか？

バリー牧師、マイク牧師: はい！聞こえています！

アミール: 彼らが何者であったかに関して、いろいろな意見があると思います。しかし繰り返しますが、これは私の個人的な見解で、神のみことばと、彼らを表すヘブライ語に対する私の理解のそれと、人の娘たちと彼らとの関係から、最終的に生まれたものにに基づいています。繰り返しますが、彼らは天国から来た者たちで、元々人間との交配は意図されていません。彼らは神に背いたので、落とされ、閉じ込められました。私が言いたいのは、マイク、これは神のみことばを妨害しようとする、もう一つのサタンの試みで、神の御業と神のご計画、神の世界に介入しようとした。彼は非常にたくさんのやり方、多くの方法を試しましたが、これはそのうちの一つでした。しかし、それは非常に危険なものでした。そして私が思うに、神は非常に迅速、かつ断固とした非常に厳しい方法で対処されました。

マイク牧師: そうですね、確かに。バリー牧師、誰かがこの質問に関連する事を聞いています。ネフィリムが人間と関係を持った時、具体的には何だったのでしょうか？つまり、霊が人間と同居していたという事ですか？

バリー牧師: ええ、そこが大きな問題だと思います。なぜなら、アミールが指摘したように、創世記6章には「神の子ら」と呼ばれるグループがあります。また、ヨブ記にも同じ言葉が使われており、

ある日、神の子らが【主】の前に来て立ったとき、サタンも来てその中にいた。(ヨブ1: 6)

ですからこれは、御使いの領域を表現するのに、よく使われるフレーズです。それから、色々な議論があって、御使いに関する情報があまりありませんが、すべてが、男性を表す言葉が使われているようで、「めとることも、とつぐこともなく、天の御使いたちのようです。」と言われているなら、御使いには生殖能力がないと主張する人がいます。彼らは皆男なのだから、生殖能力があっても仕方がない、と。これは熱く議論されている問題です。繰り返しますが、様々な意見に対して、我々は寛容でなければなりません。なぜなら、私たちは聖書で語られている事を超えては、何も出来ませんから。ただ、巨大な人間の種族がいたのです。仮に、それに求められるものが、墮天使たちが、

人の娘を見て、非常に魅力的だったとか、理由は何であれ、物理的に女性を妊娠させる事ができる形で、姿を現すことができた。つまり、それは妥当な解釈だと思います。そこでは、それを暗示しているように見えます。そして、他の人が言うには、「いや、なぜ神は無駄なことをするのか？ 御使いの領域に女がないのに、子孫繁栄の可能性を与えるだろうか？」繰り返しますが、アミールのように、この話に2時間かける事も出来ます。私たちはこの特定の問題について、何時間も議論する事が出来ますが、聖書のどの問題についても、主要な質問は、「主イエス・キリストを信じなさい。そうすればあなたは救われます！」私たちは、全てにおいて、そこに落ち着くべきです。

アミール: アーメン！アーメン。ところで、今バリーが言った事に関して、彼らは、めとったり嫁いだりしませんが、だからといって、彼らは繁殖できないという事ではありません。彼らは、しないだけです。彼らがしないのは、それが彼らの目的ではないからです。繰り返しますが、私が思うに、サタンが、“反キリスト”と呼ばれる人物の中に入る時でさえ、ある意味それを表現するなら、サタンの化身です。ですから御使いの領域でも、サタンの領域でも、悪魔の領域でも、悪霊の介入を見えています。私たちはそれを見えています。繰り返しますが、それがただの人間と人間でない事が分かる理由の一つは、そこから生まれるものを見てください。つまり、その結果を見たら、あれはとても不自然な事だったのです。なぜなら、ここでの関係の種類が、自然なものではありませんから。あれは、神がこの地球上で造られた男と女の間の自然な事ではなく、全く違うものでした。したがって、全く異なるものを生み出したのです。繰り返しますが、私が思うに、これはサタンの恐ろしいやり方の一つで、「俺も何かを生み出す事が出来る」と言っているのです。「人種も作れる。俺と同じ人種を」そして神は、このすべてが起こったときに、この世界を一掃されたのです。ゴリアテのような巨人が、あちこちに居るのはまた別の話で…

バリー牧師: あるいは、種族全体。

アミール: ええ、それはまた、別の話です。この事から私は、それが、他のすべてのオプションよりも、大きかった事を確信しています。

バリー牧師: ええ。マイク、先に進む前に、ちょっとだけ付け加えさせてください。アミールが取り上げた重要なポイントで、これは、人類を破滅させたのだと思います。イエスは、ノアの時代と、ご自身が再臨される前の時代を類似されました。さて、ノアの時代から分かる事は、義人が比較的少なく、悪魔の活動が非常に大きかったという事です。私たちは、それを見て、体をまっすぐにして頭を上げる時かどうかを知るのです。私たちの贖いが近づいたかどうか。これは、イエスがもうすぐ来られるという事の、さらなる証拠だと思っています。アミールが先ほど言ったように、私たちは、「患難の間に救われよう」などと考えなくても良いのです。あなたは患難の初期段階で生き残れないかも知れませんよ。だから、今日は救いの日です。今こそキリストに立ち返り、人生をキリストに捧げる時です。

マイク牧師: ええ。私たちの社会は壊滅的ですし、当時の社会もめちゃくちゃだったのでしょ。彼らが悪魔と関係を持ちたい、性交渉までしたいと思った時には、完全に混乱している事が分かります。そして、それは人類の歴史の中で私たちが進むところの一部で、悪への寛容です。本当に非常に深刻な事ですね？

Q: 悪魔はクリスチャンにとり憑く事が出来るのか？ という質問が出てきました。

アミール、悪魔はクリスチャンにとり憑く事が出来ますか？

アミール: ほら、私が思うに、自分の中に聖霊が宿っていれば、周りの悪魔の活動や、悪魔の存在から、完全に遮蔽されている、というわけではありません。しかし、それを見極め、それに基づいて行動するために聖霊を持っています。私は「クリスチャンの領域内」で、多くの悪魔の活動があると信じています。私たちはそういう事を知っていますし、私たちはそういう事を見してきました。私たちは、そういう事をたくさん見えています。しかし、これは非常に厄介な質問です。そもそもの質問は、「あなたは救われていますか？」そもそもの疑問は、「あなたは聖霊を持っていますか？」そもそもの疑問は、「あなたは神のみことばの中にいますか？ それとも、悪魔的な存在の中にいますか？」「あなたは具体的に何をしているのか？」

さて、私は、多くのクリスチャンが、悪夢や、発作や不安に苦しんでいる事も知っています。だからと言って、彼らの内に悪魔がいるという意味ではありません。それは彼らが、周りにいる悪魔の領域と格闘しているという事です。なぜなら、神はみことばの中で、明確に示しておられます。

私たちの格闘は血肉に対するものではなく主権、力、この暗やみの世界の支配者たち…(エペソ6: 12)

彼らはどこにいるのでしょうか？ 彼らは天にいますが、暗い、闇の、暗黒のものです。だから私たちは間違いなく、我々の周辺にある、非常に多くの悪いものの中に悪魔的な存在を感じています。しかし、あなたの内に聖霊があり、あなたが神のみことばに留まって、信者として健全な生活を送っていれば、みことばの中でフェローシップ、家族との交わり、静かな時間を持っていけば、敵に屈しなくなる可能性が、はるかに高くなります。当然です。それは免疫システムのようなもので、神から多くのものを得れば得るほど、敵があなたに出来る事は少なくなります。自分の人生の中で世を許せば許すほど、世は自分に影響を与えます。私たちはまだ、この墮落した世界にいます。間違っ**て**はいけません。罪はまだここにあるのです。私たちは赦されたとはいえ、まだこの罪深い体をまとっています。未だに、何度も悪い考えに捉**とら**われます。私たちは、今でも問題と格闘します。しかし、それは必ずしも悪魔にとり憑**つ**かれていますわけではありません。でも、悪魔にとり憑**つ**かれている人がいて、そこから解放されたいと願っているケースもあります。私はそれが起こっているのを見してきました。マイク、あなたも見ていますね？ それは、起こり得るか？ 起こり得ます。そういうケースがあります。私が見たのは、キリストの信者です。しかし、彼らは問題がある事を知っていますし、周囲も問題がある事を知っています。そういった悪魔を追い出すために、彼らを連れて来るのです。しかし、先ほども言ったように一般的には、新生して、聖霊に満たされ、信者らしい生活をしている人は、悪魔がその人の中にいる可能性は非常に低いです。

マイク牧師: そうですね、確実に。バリー牧師、あなたは牧師としての豊富な経験をお持ちですね。この質問は、何度もあなたに投げかけられています。視聴者に、何か提供できる事はありますか？

バリー牧師: まあ、憑依^{ひょうい}と抑圧^{よくあつ}の違いを理解する必要があると思います。クリスチャンが、敵に完全に圧迫される事は、全く可能です。だからこそ、私たちは、さまざまの思弁^{しべん}と、神の知識に逆ら**っ**て立つ、あらゆる高ぶりを打ち砕くように言われているのです。悪魔は決して与え**ま**せん。彼はただ盗み、殺し、破壊しに来るだけです。多くの場合、彼は私たちの希望や喜びを標的にして**い**て、それを追**い**かけます。つまり、不機嫌なクリスチャンほど、彼の好きなものはない。しかし、同時に、私たちは気づかなければなりません。がっかりするような、痛みを伴う、つらい事が、人生には起こります。そして、しばしば落ち込**ん**だり、鬱^{うつ}になったり、苦しむ事すらあるでしょう。しかし、私たちは覚えておかなければなりません。何よりも、第一ヨハネ4章4節で、最も愛されたヨハネが言っています。

子どもたち。あなたがたは神から出た者であり…

あなたは、神のものです。あなたは神の所有物です。あなたは神のもの、神はあなたのものです。

あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力があるからです。(第1ヨハネ4: 4)

イエスは、ベルゼブルの名や力で悪霊を追い出したと非難された時に、その点を指摘され、主はマタイの福音書12章で仰いました。

どんな家でも分裂して争えば立ち行かない。(マタイ12: 25参照)

ですから、もう一度言いますが、私たちは認識しなければなりません。クリスチャンも辛い事や、心がカサつく事、落胆の苦しい時期を経験します。詩篇を見ていても、ダビデは詩篇37篇に出てくるような事を何度も言っています。落胆と戦っている誰もが、そこを読むべきだと思います。ダビデはよくこんなフレーズを使っています。「わがたましいよ。なぜ、おまえはうなだれているのか」彼は自分が経験した事について話し、言います。「私のたましいが私のうちに衰え果てた」「私は本当に落胆して、生き残れるか分からない」「自分の身に起こっている事と、激しく戦っている」これらの事は、クリスチャンにも起こります。だからと言って、私たちがとり憑**つ**かれているという意味では

ありません。私たちの中にある聖霊の力は、私たちを追いかけてくる悪魔の霊の力よりも大きいのです。だから、そういう意味では、彼が私たちにとり憑く事は出来ません。彼は確かに、私たちを弾圧する事が出来ますし、彼はしょっちゅうそれを仕掛けて来ます。しかし、私たちは、私たちの内にある神の力によって、戦いの武器を表明し、勇敢に信仰の戦いを闘うことが出来ます。主が私たちの中に与えてくださったものは永遠です。そして私たちは、神の愛から切り離される事も、主の手から奪い去られる事ありません。

マイク牧師: 確かに。お二人が発言している間、掲示板が活気付いて来ました。アーメン、盛り上がっていますね。信者には、多くの確信があります。私たちの中には、聖霊と呼ばれる優れた力があり、悪魔は、それに触れる事さえ出来ません。彼は、それに比べれば何もありません。5分後に、アラームを鳴らします。残り5分です。アミール、今日最後の質問は、第三神殿の建物の再建についてです。

Q: ユダヤ人は、その準備(第三神殿の再建の準備)が出来ているのですか？ 彼らは何を準備してきたのでしょうか？ 器具はどこにありますか？

アミール: 契約の箱と、ソロモンの時代から後のヘロデの時代に至るまでの本物のメノラーを除けば、ほぼ全てが揃っています。設計図の準備が出来ています。エルサレムの神殿研究所で、すでに器が全て再現されています。マイク、私たちは、エルサレムに神殿が出来ると知っています。祭壇が出来ると知っています。2人の証人がそれを見ましたから、私たちにはそれが分かります。(黙示録11章参照)つまり、ヨハネはそれを測定したのです。エルサレムの神殿で、礼拝があることを知っています。預言者ダニエルも、それを見ました。彼は、その70週目に、礼拝と犠牲の儀式が行われ、それが止まる事を知っていました。反キリストがその真の姿を現す時、彼はそれを止めさせます。だから、神殿が存在することは、間違いありません。エルサレムの神殿研究所を見ると、私の心は泣いてしまいます。なぜなら、この神殿がユダヤ人を騙すことを知っていますから。彼らは、神のために素晴らしい事をしていると考えます。「これだ！すべてが素晴らしい！」と。しかし、私はそれについて考えています。というのも、黙示録の11章について、私はよく話をしますが、私は今、二人の証人についてのメッセージのために勉強しているのです。そのメッセージの中で、エルサレムは霊的にはソドムとエジプトと表現されています。(黙示録11: 8参照)そこで私は考えていたのですが、神殿は建っています。しかし、霊的には国家はそこにはありません。

マイク牧師: はい。

アミール: 私が何を言っているのか、分かりますか？ だから、まだ抑圧があるのが分かるでしょう。まだ…私が言いたいのは、第三神殿は出来ます。私は個人的には、今の岩のドームがある神殿の丘、その北側の空き地になると思っています。私は心の底から信じていますが、その神殿は、いずれ反キリストが来て、テサロニケ人への手紙第二によれば、自分が“カミ”であるかのように、自分が“カミ”であると宣言します。その神殿は、神殿の丘に立つものは、全て破壊されます。イエスの足がオリーブ山に立ち、再臨されるとき、オリーブ山が裂けて、地震が起きて、すべてが崩壊します。それについて疑う余地がありません。だから、はい、神殿が出来ます。私たちはその準備をしています。私はそれを見たくありませんが、そして、私たちは先に引き上げられるので、それを見ないと確信しています。しかし私は、設計図を見た事がありますし、器も見ました。私はすでに、祭司が生贄の儀式を始めるために、訓練されているのを見ました。すべてがそこにあります。もはや列車を止める事は出来ません。その列車はとっくの昔に駅を出ています。私が言いたいのは、おそらく、エゼキエル戦争で神殿の丘におけるイスラム教徒の支配に終止符が打たれ、ユダヤ人が、再び神殿を建てる事が許されるのかも知れません。反キリストがユダヤ人にそれを許可するような、和平計画を導入する完璧なシナリオです。ユダヤ人には、それが気に入るでしょう。それは私がいうところの、「試練の時」であり、2人の証人がそこに立って、彼らに警告するでしょう。しかし、あまりにも物理的なものに焦点が当てられ、誰も考えないのです。「我々はここで、本当に神を礼拝しているのか？」ともかく、質問の答えは、はい、神殿は建ちます。バリー、最後の2分をどうぞ。

マイク牧師: バリー牧師、あなたは何度もイスラエルに行っていますね。あの巨大な黄金のメノラーがあります。ご自分で器具を見た事はありますか？ よく勉強されている牧師としての印象はいかがでしたか？

バリー牧師: さて、神殿研究所に行くと、アミールが言っていたように本当に美しく壮大です。神が礼拝の対象に何を要求し、指示された配置を見れば、主は秩序の神であり、美の神であり、銀のラッパや鉢、大祭司の衣を見て、そ

れらすべてが象徴するもの、それに、身につけるエポデ、とにかく、ただただ美しく、神がどういうお方であり、神が、私たちの礼拝にどれほどふさわしいかを再確認します。アミールが言っていたように、ええ、ある意味、考えてみれば悲しい事ですが、この建てられようとしている神殿は、まさに「荒らす忌まわしいもの」が、この神殿の丘で興ります。これは現実です。ダニエルは、神殿について触れていません。彼はただ、「荒らす忌まわしいもの」について言及しただけです。彼は、神殿になるとは言っていません。

アミール: ...しかし、彼は犠牲について話しました。

バリー牧師: そうです。

アミール: しかし、彼が止めさせる。

マイク牧師: それには、神殿が必要です。

バリー牧師: そこには神殿が必要です。だから繰り返しますが、それは、物事の終わりに近づいていることと、主がもうすぐやってくる事を示す、もう一つのサインです。それは素晴らしい、改めて素晴らしい時代に生きています。良いですか？ 皆さんの中で、イエスを主であり、救い主として知らない人は、今日、決断をして、心をイエスに捧げなければなりません。主は、まだ、誰一人滅びることを望んでおらず、すべての人が悔い改めに来ることを望んでおられます。

アミール: アーメン！アーメン！預言者が言ったことはすべて、私たちの目の前で起こっています。ダニエルはそのことを書き、イエスはそのことを語られ、パウロはそのことを語り、私たちは、今生きて、それを見ています。それが起こると信じるのではなく、起こるかも知れないと、願い祈るのでもなく、私たちは、その日が近づいているのを見ているのです。

バリー牧師: アーメン。

マイク牧師: これは、私たちにとって非常に励みになるはずですが、すでに言ったように、もし、自分の信仰について確信が持てないなら、確認してください。魂を危険にさらしてはいけません。魂を賭けてはいけません。今すぐ、きれいにしなければなりません。イエスに赦していただき、あなたの主であり救い主として、あなたの人生に入ってくださいように祈りましょう。さて、時間切れになってしまいました。アミール、最後のアナウンスはありますか？ バリー牧師に締めくくっていただく前に？

アミール: 私たちは、これからも、連絡を取り合っていきたいと思っています。ソーシャルメディア以外でも。その理由は、私は最近ずっと目撃しているのです。特にコロナウイルスの事でソーシャルメディアに代わって、大きな尺度で検閲が行われています。つまり、動画が削除され、投稿が削除されていて、私の動画を見ている人は、動画を見る前にFacebookで警告されているのです。「ところで、一応言っておきますが、この動画を本当に観たいですか？」つまり、もしもし？ 私が提案するのは、今ここで画面の下に出していますが、ホームページからニュースレターを受信して、FacebookやYouTubeだけに頼らないようにしてください。beholdisrael.org私たちのYouTubeチャンネルは、BeholdIsrael インスタグラムは1語、beholdisraelです。フェイスブック、BeholdIsraelそしてツイッターは1語、BeholdIsrael皆さん、私たちをフォローして登録してください。なぜなら、最終的に、唯一皆さんとのコミュニケーションの手段、または交わりの場が、私たちのウェブサイト、Eメール、ニュースレターだけになる日が近づいています。ですから、ぜひ登録してください。その日はもう来ています。もはや、その日が来るのを恐れていません。もう、すでに来ています。という事で、それが一つ。もう一つ、皆さんにお伝えしたいのは、私たちは今、多くの試練に直面しています。でもね、これは新世界秩序です。それが来るのは分かっていました。私たちは、それについて話してきました。それはすでにここにあります。私たちは、笑顔にならなければなりません。私たちは喜ばなければなりません。私たちの贖いは、確かに近づいていますから。

マイク牧師: そうですね。アーメン。最後に、バリーに締めくくっていただく前に、一言だけ。皆さん、あなたがたが私たちのために祈ってくださるとき、私たちは文字通り皆さんの祈りを感じます。あなたがたの祈り、支え、励ましが、私たちにとって大きな力となっています。特にこの頃は、私たちは多くの教えに携わり、多くの神のみことばが語られ

ています。ですから、霊的な戦争がたくさんありますが、皆さんお一人お一人が私たちにとって重要です。皆さんお一人お一人を愛し、お祈りに感謝します。そしてお祈りといえば、バリー牧師、お祈りで閉じて頂けたら幸いです。

バリー牧師: もちろんです。

お父様、私たちはあなたを知っている事に、心から感謝します。私たちに向けて示してくださった大きな愛に感謝しています。私たちがまだ罪人であったときに、キリストは不義の者のために死んでくださいました。主よ、いつも私たちに気づかせてくださり、感謝します。私たちはみな罪人であること、私たちはみな、神の栄光を受けることができない事、罪の報酬は死だという事、しかし、神の賜物は、主イエス・キリストを通しての永遠のいのちである事。だから、お父様、これを見ている人の中で、あなたのことを知らない人の為にお祈りします。あなたが王の王であり、主の主であること、そして、あなたがすぐに、ご自分の教会のために再び来られる事を認識し、彼らが賢明な決断をして、心と人生の方向性を変え、悔い改め、キリストの救いの知識を得て、そして、魂を救うことができる、あなたのみことばで語られた事を受け取りますように。だから、主よ、私たちに対するあなたの大きな愛に感謝しています。将来の相続が保証されている事、御霊を与えてくださったことに感謝しています。主よ、私たちはこの時間に感謝します。あなたの民の上に、あなたの祝福をお祈りします。アミールが私たちの為に見事に祈ってくれるように、主よ、私たちも祈ります。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、

あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、

あなたに永遠の平安を与えられますように。

それは私たちの主キリスト・イエスを知ることによってのみ得られるものです。ですから、私たちの時間に感謝し、それがあなたの民のために役立ち、洞察力のあるものであった事をお祈りしています。私たちは皆、ここを離れるにあたって、あなたに対し、また、他の人があなたを知る事に対して、熱意を持ちますように。私たちは、イエスの御名で、これらの事をお祈りします。

アーメン。

アミール: アーメン。さて、皆さん、ありがとう。バリー牧師、ありがとうございます。マイク牧師、司会をしてくれてありがとう。皆さん、今日は多くの方に見ていただき、ありがとうございます。どうか、これをシェアして下さるよう、お願いします。ここには、多くの人が知りたい良い情報がたくさんあります。多くの人が持っている多くの質問に、今日はかなりの数の質問に答えてきました。すべてに感謝します。また来週の初めには、中東の最新情報をお届けしたいと思います。他にも、たくさんものを用意しています。フェイスブック、ユーチューブ、インスタグラム、ツイッターに投稿する予定です。私たちと連絡を取り合ってください。また、私たちのニュースレターを登録してください。BeholdIsrael.org.ありがとうございます。バリー牧師、もう一度、ありがとうございます。マイク牧師、ありがとうございます。

皆さんに神様の祝福がありますように！



メッセージ by Amir Tsarfati/BeholdIsrael: <http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル日本語 YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.05.22(Fri)